بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

イスラームの英雄

第 6 巻

ムスアブ・ブン・ウマイル

イスラーム最初の使節、ウフドの旗手 — クルアーンと真正なハディースに基づいて

مِّنَ ٱلْمُؤْمِنِينَ رِجَالٌ صَدَقُوا۟ مَا عَٰهَدُوا۟ ٱللَّهَ عَلَيْهِ ۖ فَمِنْهُم مَّن قَضَىٰ نَحْبَهُۥ وَمِنْهُم مَّن يَنتَظِرُ ۖ وَمَا بَدَّلُوا۟ تَبْدِيلًا ﴿٢٣﴾

「信者の中には，アッラーと結んだ約束に忠実であった人びとが（多く）いたのである。或る者はその誓いを果し，また或る者は（なお）待っている。かれらは少しも（その信念を）変えなかった。」

部族連合章 33:23

Hj Che Alim Hj Che Haron

quranscience.my | facebook.com/QuranScienceMY

quranscience.my で無料のデジタル版を読むには、こちらをスキャンしてください

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の本。販売はできません。

謝辞

信仰者の中から、ご自身との約束に忠実な男たちを選ばれたアッラーに讃えあれ。私たちの主、預言者ムハンマド ﷺ と、その家族と教友たち、とりわけマディーナへのイスラーム最初の使節であり、バドルとウフドの旗手であったムスアブ・ブン・ウマイル رضى الله عنه に祝福と平安あれ。

この本を、最愛の妻

ザハラ・モハマド・ラティフ；

愛する子どもたち、

ムハンマド・ハフィズ、ヌール・ハズワニ、アブドゥル・ハキム、ヌール・ヒダヤ、ノル・アキラ、ノル・アティカ；

そして義理の子どもたち、

ファジラ、マレク、ハニン、ファイリザル、フィルワンに捧げます。

『イスラームの英雄』第 6 巻は、ムスアブ・ブン・ウマイル رضى الله عنه の生涯を語ります。イスラームのためにすべてを捨てたマッカで最も恵まれた若者であり、マディーナで最初のクルアーンの教師であり、体を覆うには短すぎる布で葬られたウフドの殉教者です。この知識が「役に立つ知識（イルムン・ユンタファウ・ビヒ）」となりますように。

この電子書籍の表紙について

この電子書籍の表紙には、人間も動物も描かれていません。描かれているのは、夜明けの *ウフド山*です。赤みを帯びた岩山、谷の朝霧、そして遠くには *マディーナのナツメヤシの林*が見えます。マディーナは、ヒジュラの前にムスアブの呼びかけによってイスラームを受け入れた町です（『サヒーフ・ブハーリー』3925）。

大きな岩の上には *白い旗*が立っています。ムスアブがバドルとウフドでアッラーの使徒 ﷺ の旗手であり、殉教するまで旗を手放さなかったことを思い起こさせます。

旗のそばには、*古く擦り切れた縞模様の毛織りの布（ナミラ）*と、*ひと束のイズヒル草*が置かれています。それがムスアブの唯一の死装束でした。頭を覆うと足が出てしまうので、アッラーの使徒 ﷺ は頭を覆い、足をイズヒル草で覆うよう命じられました（『サヒーフ・ブハーリー』1276）。これはアッラーの言葉を思い起こさせます。「信者の中には、アッラーとの約束に忠実な人々がある」（部族連合章 33:23）。

下部の *紺色の帯*は、*細い金色の線*に縁取られ、著者名が記される場所です。『イスラームの英雄』の表紙がすべてそろうよう、第 1 巻から第 5 巻までの表紙と同じ形にしています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

目次

ムスアブ・ブン・ウマイル 5
1. ムスアブとは誰か 6
2. マッカで最も香り高い若者 7
3. アルカムの家での入信 9
4. 家族の試練とアビシニアへの移住 10
5. マディーナへの最初の使節 12
6. 「座って聞いてみませんか」 13
7. マディーナのクルアーン教師 15
8. 第二次アカバの誓い 18
9. ヒジュラとアッラーの使徒 ﷺ の出迎え 19
10. バドルの旗手 20
11. 捕虜となった兄弟 21
12. ウフド：最後の息まで旗を 22
13. ウフドの殉教者たち 24
14. ナミラとイズヒル草 26
15. アブドゥッラフマーン・ブン・アウフの涙 28
16. 約束に忠実な男たち 30
17. ムスアブの家族 33
18. ムスアブの人柄 34
19. ムスアブの物語の出典 35
20. ムスアブの物語の人物 37
21. ムスアブの物語の場所 38
22. ムスアブの生涯の年表 39
23. ムスアブについてよくある質問 40
24. 教訓と結び 42
参考文献 43
支援と寄付 45

色の見方：緑の枠 = クルアーンの節；金色の枠 = ハディース；茶色の枠 = スィーラの注（スィーラ書の伝承）；青い表 = 比較。

ムスアブ・ブン・ウマイル

ウフドの戦いの後、教友たちは一人の殉教者を包む布を探しました。見つかったのは短い縞模様の毛織りの布だけでした。***頭を覆うと足が出てしまい、足を覆うと頭が出てしまうのです。*** アッラーの使徒 ﷺ は、頭を覆い、足をイズヒル草で覆うよう命じられました。その殉教者こそ***ムスアブ・ブン・ウマイル*** رضى الله عنه です。

イスラーム以前、ムスアブはマッカで最も恵まれ、最も良い香りをまとった若者でした。入信した後、彼はそのぜいたくをすべて捨て、***マディーナへのイスラーム最初の使節***となり、アンサール（援助者）にクルアーンを教え、バドルとウフドでムハージルーン（移住者）の旗手となりました。

この電子書籍は***『イスラームの英雄』***シリーズの第6巻です。これまでの巻と同じく、ムスアブ رضى الله عنه の物語を、まずクルアーンと真正なハディースから、次に信頼できるスィーラ（預言者伝）と歴史の書から集めています。すべての伝承に出典を示し、有名でも伝承経路が弱い話はそのことを正直に説明します。

ムスアブの物語は、この世のぜいたくをアッラーのご満悦と取り替えた若者の物語です。彼はイスラームの勝利を見るまで生きませんでしたが、その報奨はアッラーのもとに完全に保たれています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ムスアブとは誰か

彼の正式な名は*ムスアブ・ブン・ウマイル・ブン・ハーシム・ブン・アブド・マナーフ・ブン・アブド・アッ＝ダール・ブン・クサイイ*で、クライシュ族アブド・アッ＝ダール家の人です。その家系はクサイイ・ブン・キラーブでアッラーの使徒 ﷺ の家系とつながります。クンヤ（呼び名）は*アブー・アブドゥッラー*で、歴史家たちはしばしば彼を*ムスアブ・アル＝ハイル*（善きムスアブ）と呼びます。

彼は、カアバの鍵を預かり、戦いではクライシュ族の旗を掲げた家系である*アブド・アッ＝ダール家*の出身です。母は彼を深く愛した裕福な女性*フナース・ビント・マーリク*、父ウマイル・ブン・ハーシムもクライシュ族の名家の人でした。

名前と呼び名

名前・呼び名	説明
ムスアブ・ブン・ウマイル	本名
アブー・アブドゥッラー	伝記の書によるクンヤ
アル＝アブダリー	クライシュ族の旗手アブド・アッ＝ダール家の人
ムスアブ・アル＝ハイル	「善きムスアブ」、歴史書での呼び名
アル＝ムクリウ	「クルアーン読誦の教師」、マディーナでの呼び名

教訓

ムスアブは高貴で裕福な家の出でしたが、今日までその名が語り継がれているのは、家柄や財産のためではなく、信仰と献身のためです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

マッカで最も香り高い若者

伝記の書は、ムスアブをマッカで最も美しい服を着て、最も高価な香水をまとった美しい若者として描いています。母は最上の服やサンダルで彼を甘やかしました。彼がマッカの小道を通ると、人々はその香りで彼が通ったことを知ったといいます。

歴史の注：「マッカでムスアブのような若者を見たことがない」

アッラーの使徒 ﷺ はムスアブについて、こう言われたと伝えられています。「マッカで、ムスアブ・ブン・ウマイルより髪が美しく、服が柔らかく、恵まれた暮らしをしていた者を見たことがない。」

伝承の評価： 伝記の書に伝えられていますが、伝承経路は真正ではありません。ただし、イスラーム以前のムスアブの豊かな暮らしは、歴史家たちによって広く伝えられています。

参照：

イブン・サアド『大列伝』（ムスアブ・ブン・ウマイルの伝記）；ハーキム『アル＝ムスタドラク』。

ハディースの注：毛皮でつぎを当てた外套

アリー・ブン・アビー・ターリブは、彼らがモスクでアッラーの使徒 ﷺ と座っていたとき、毛皮でつぎを当てた外套一枚だけを身に着けたムスアブが現れたと伝えています。アッラーの使徒 ﷺ は彼を見ると、かつての恵まれた暮らしと今日の姿を思って泣かれました。

伝承の評価： ティルミズィーは「ハサン・ガリーブ」としましたが、アリーから聞いた伝承者の名が示されておらず、ダールッサラームは「ダイーフ（弱い）」としています。

参照：

『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』2476。

教訓

ぜいたくは罪ではありませんが、重い試練となることがあります。ムスアブは、本当に信じる心は、この世の快適さがアッラーの道の妨げとなるとき、それを捨てる覚悟があることを示しました。

アルカムの家での入信

宣教の初期、アッラーの使徒 ﷺ はサファーの丘のふもとにある*アル＝アルカム・ブン・アビー・アル＝アルカム*の家で、ひそかに人々を招いていました。ムスアブは、ムハンマド ﷺ がその家で新しい教えに招いていると聞き、そこへ行ってクルアーンの節を聞き、入信しました。

ムスアブは母と一族を恐れて入信を隠しました。そしてアッラーの使徒 ﷺ から学ぶため、ひそかに通い続けました。

歴史の注：秘密が知られる

アブド・アッ＝ダール家の*ウスマーン・ブン・タルハ*が、ムスアブが礼拝しているのを見て、ムスアブの母と家族に知らせました。家族は彼を捕らえ、家に閉じ込めたと伝えられています。

伝承の評価： スィーラと伝記の書に伝えられています。

参照：
イブン・サアド『大列伝』；イブン・ヒシャーム『預言者伝』。

教訓

ムスアブは自ら真理を求め、聞くとすぐにそれを受け入れました。知識と善い集まりは導きへの扉です。だからこそアッラーの使徒 ﷺ は、アルカムの家を学びの場とされたのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

家族の試練とアビシニアへの移住

ムスアブの母はひどく怒り、息子を閉じ込めて、先祖の宗教に戻るよう強いました。ムスアブは揺らぎませんでした。機会が来ると、彼はナジャーシー王の保護を求めて*アビシニア（ハバシャ）*へ移住したムスリムたちとともに出発しました。

歴史の注：母の愛と信仰

ムスアブがアビシニアから戻ったとき、母はイスラームを捨てない限り彼を受け入れないと言い、それまで与えていた生活費をすべて断ったと伝えられています。ムスアブは穏やかに、今も母を愛していると伝えてイスラームに招きましたが、母は拒みました。

伝承の評価： 伝記の書に伝えられていますが、細部は伝承によって異なります。

参照：
イブン・サアド『大列伝』；ザハビー『高貴な人々の伝記』。

ムスアブの態度は、両親から多神崇拝を強いられる子どもについてのアッラーの言葉に合っています。

蜘蛛章 29:8

وَوَصَّيْنَا ٱلْإِنسَٰنَ بِوَٰلِدَيْهِ حُسْنًا ۖ وَإِن جَٰهَدَاكَ لِتُشْرِكَ بِى مَا لَيْسَ لَكَ بِهِۦ عِلْمٌ فَلَا تُطِعْهُمَآ ۚ إِلَىَّ مَرْجِعُكُمْ فَأُنَبِّئُكُم بِمَا كُنتُمْ تَعْمَلُونَ ﴿٨﴾

われは人間に，両親に対して親切にするよう命じた。だがもしかれら（両親）が，あなたに対し何だか分らないものをわれに配するように強いるならば，かれらに従ってはならない。あなたがたは（皆）われの許に帰る。その時われは，あなたがたの行ったことを告げるであろう。

訳：三田了一 — quran.com/29:8

教訓

ムスアブは母に乱暴な態度をとらず、つらく当たりもしませんでしたが、アッラーに背くことでは母に従いませんでした。アビシニアへの移住は、信仰者が自分の宗教を守るためなら故郷を離れることもいとわないことを教えています。

マディーナへの最初の使節

預言者となって 12 年目の巡礼の季節、ヤスリブ（マディーナ）の 12 人の男たちがミナーの ***アカバ***でアッラーの使徒 ﷺ に会い、忠誠を誓いました。これが ***第一次アカバの誓い***です。

彼らが帰るとき、アッラーの使徒 ﷺ は、マディーナの人々にクルアーンとイスラームの規定を教えるため、ムスアブ・ブン・ウマイルを同行させました。こうしてムスアブは ***イスラーム最初の使節***となり、その町の最初の教師となりました。彼は ***アスアド・ブン・ズラーラ***の家に滞在し、マディーナの人々は彼を ***アル＝ムクリウ***（クルアーン読誦の教師）と呼びました。

歴史の注：なぜムスアブが選ばれたのか

歴史家たちは、ムスアブがそれまでに下されたクルアーンの多くを暗記しており、人柄が良く、穏やかで、賢く話すことができたために選ばれたと述べています。また名家の出であったため、マディーナの有力者たちも彼を尊重しました。

伝承の評価： ムスアブがマディーナへ派遣されたことは、スィーラの学者たちの一致するところです。選ばれた理由は歴史家たちの説明です。

参照：
イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークからの伝承）；イブン・サアド『大列伝』。

教訓

イスラームへ招く人は、年長者や地位のある人である必要はありません。ムスアブはまだ若者でしたが、その知識と人柄と誠実さによって、大きな任務にふさわしい人となりました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

「座って聞いてみませんか」

ムスアブの呼びかけの英知は、アブドゥルアシュハル家の二人の指導者、***ウサイド・ブン・フダイル***と***サアド・ブン・ムアーズ***の入信の物語に最もはっきりと表れています。

歴史の注：ウサイド・ブン・フダイルとサアド・ブン・ムアーズ

ムスアブとアスアド・ブン・ズラーラが、学びたい人々と果樹園に座っていると、ウサイド・ブン・フダイルが槍を手に怒ってやって来て言いました。「われわれの中の弱い者たちをだましに来たのか。命が惜しければ立ち去れ！」

ムスアブは静かに答えました。***「座って聞いてみませんか。気に入れば受け入れればよい。気に入らなければ、あなたの嫌がることはやめましょう。」*** ウサイドは「公平だ」と言い、槍を地面に突き立てて座りました。ムスアブがクルアーンを読み、イスラームを説明すると、ウサイドの顔つきが変わりました。彼はどうすればこの教えに入れるのかを尋ね、身を清め、信仰を告白し、礼拝しました。

続いてサアド・ブン・ムアーズが怒ってやって来ましたが、ムスアブは同じ言葉をかけました。サアドも座って聞き、入信しました。サアドは一族アブドゥルアシュハル家に戻り、アッラーとその使徒を信じるまでは口をきかないと告げました。その日の夕方には、一族全員が入信していました。

伝承の評価： この物語はイブン・イスハークが伝え、すべてのスィーラの書で有名ですが、真正なハディース集には収められていません。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークからの伝承）；タバリー『諸使徒と諸王の歴史』；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

教訓

ムスアブは怒りに怒りで応えませんでした。相手に選ぶ自由を与え、聞くように招き、クルアーンが心に触れるのに任せました。これこそ、アッラーが蜜蜂章16:125で命じられた、英知と良い忠告による呼びかけです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

マディーナのクルアーン教師

当時アンサールの少年だったアル＝バラーウ・ブン・アーズィブは、誰が最初にマディーナに来て、何をしたかをこう語っています。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 3925 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ بَشَّارٍ، حَدَّثَنَا غُنْدَرٌ، حَدَّثَنَا شُعْبَةُ، عَنْ أَبِي إِسْحَاقَ، قَالَ سَمِعْتُ الْبَرَاءَ بْنَ عَازِبٍ ـ رضى الله عنهما ـ قَالَ أَوَّلُ مَنْ قَدِمَ عَلَيْنَا مُصْعَبُ بْنُ عُمَيْرٍ وَابْنُ أُمِّ مَكْتُومٍ، وَكَانَا يُقْرِئَانِ النَّاسَ، فَقَدِمَ بِلاَلٌ وَسَعْدٌ وَعَمَّارُ بْنُ يَاسِرٍ، ثُمَّ قَدِمَ عُمَرُ بْنُ الْخَطَّابِ فِي عِشْرِينَ مِنْ أَصْحَابِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم ثُمَّ قَدِمَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم، فَمَا رَأَيْتُ أَهْلَ الْمَدِينَةِ فَرِحُوا بِشَىْءٍ فَرَحَهُمْ بِرَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم، حَتَّى جَعَلَ الإِمَاءُ يَقُلْنَ قَدِمَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم فَمَا قَدِمَ حَتَّى قَرَأْتُ {سَبِّحِ اسْمَ رَبِّكَ الأَعْلَى} فِي سُوَرٍ مِنَ الْمُفَصَّلِ.

訳：

アル＝バラーウ・ブン・アーズィブは言いました。 ***「最初に私たちのもとに来たのは、ムスアブ・ブン・ウマイルとイブン・ウンム・マクトゥームで、二人は人々にクルアーンの読み方を教えていた。*** 次にビラール、サアド、アンマール・ブン・ヤースィルが来た。次にウマル・ブン・アル＝ハッターブが預言者 ﷺ の教友二十人とともに来て、それから預言者 ﷺ が来られた。マディーナの人々がアッラーの使徒 ﷺ の到着ほど喜んだものを、私は見たことがない。女奴隷たちまでが『アッラーの使徒 ﷺ が来られた！』と言っていた。あの方が来られる前に、私はすでに『サッビヒスマ・ラッビカ・アル＝アアラー』をはじめ、ムファッサルのいくつかの章を読んでいた。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムハンマド・ブン・バッシャール ← グンダル ← シュウバ ← アブー・イスハーク ← アル＝バラーウ・ブン・アーズィブ رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』アンサールの美徳の書、預言者 ﷺ と教友たちのマディーナ到着の章、ハディース第 3925 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:3925

アッラーの使徒 ﷺ が来られる前にマディーナの子どもたちが覚えた章の一つが、次のアッラーの言葉で始まる至高者章です。

至高者章 87:1

سَبِّحِ ٱسْمَ رَبِّكَ ٱلْأَعْلَى ١

至高の御方，あなたの主の御名を讃えなさい。

訳：三田了一 — quran.com/87:1

教訓

アッラーの使徒 ﷺ が来られる前から、マディーナはすでにクルアーンの声で満ちていました。それはムスアブと仲間たちの働きの実りでした。誠実な教師の働きは、イスラームの勝利のための肥えた土地を用意するのです。

第二次アカバの誓い

1年後、預言者となって13年目の巡礼の季節、ムスアブは良い知らせを携えてマッカに戻りました。マディーナから 70 人以上の男性と 2 人の女性が巡礼者とともに来て、夜にアカバでアッラーの使徒 ﷺ に会い、自分たちの家族を守るように彼を守ると誓いました。

この第二次アカバの誓いが、マディーナへのヒジュラ（移住）への道を開きました。わずか1年のうちに、ムスアブの呼びかけによって、イスラームはアンサールのほとんどすべての家で知られるようになっていたのです。

歴史の注：ほとんどすべての家に

イブン・イスハークは、ムスアブがマディーナで人々をイスラームに招き続け、わずかな家族を除いて、アンサールの家でイスラームに入った男女のいない家は一軒もなくなったと伝えています。

伝承の評価： スィーラの書に伝えられています。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークからの伝承）。

教訓

誠実な一人の人が町を変えることがあります。ムスアブはひとりでマディーナに来て、1年後にはイスラームを守る70人とともに戻ったのです。

ヒジュラとアッラーの使徒ﷺの出迎え

アッラーの使徒 ﷺ が教友たちに移住を許されたとき、ムスアブはすでにマディーナにいました。彼は移住者たちを最初に迎えた一人であり、イブン・ウンム・マクトゥームとともにクルアーンを教え続けました（『サヒーフ・ブハーリー』3925）。

ヒジュラ暦 1 年ラビーウ・アル＝アウワル月にアッラーの使徒 ﷺ がマディーナに着かれたとき、町の人々はかつてないほど喜びました。その喜びは、ムスアブがまいた種から芽生えたものでした。

その後、アッラーの使徒 ﷺ はムハージルーンとアンサールを兄弟の契りで結ばれました。スィーラの書によれば、ムスアブは*アブー・アイユーブ・アル＝アンサーリー*と兄弟とされました（サアド・ブン・アビー・ワッカースとする伝承もあります）。

教訓

ムスアブはマディーナで名声や地位を求めませんでした。アッラーの使徒 ﷺ が来られると、再び聞いて従う一人の教友に戻りました。それが誠実な呼びかけ人のしるしです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

バドルの旗手

ヒジュラ暦 2 年のバドルの戦いで、アッラーの使徒 ﷺ は*旗（アル＝リワー）*をムスアブ・ブン・ウマイルに渡されました。旗は白でした。ムスアブの一族アブド・アッ＝ダール家は、ジャーヒリーヤ（無明時代）からクライシュ族の旗を掲げてきましたが、今やその一族の若者がイスラームの旗を掲げたのです。

歴史の注：ムハージルーンの旗

スィーラの学者たちは、アッラーの使徒 ﷺ が大旗をムスアブ・ブン・ウマイルに渡し、ムハージルーンとアンサールにはそれぞれ黒い旗があり、アリー・ブン・アビー・ターリブとサアド・ブン・ムアーズが掲げたと伝えています。

伝承の評価： スィーラとマガーズィーの書に伝えられています。ほかの旗を掲げた人の名は伝承によって異なります。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークからの伝承）；ワーキディー『マガーズィー』；イブン・サアド『大列伝』。

教訓

旗はただの布ではなく、軍の誇りと不屈の象徴です。アッラーの使徒 ﷺ は、その勇気と忠誠を最も信頼する人に旗を託されました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

捕虜となった兄弟

バドルでムスアブは、多神教徒の側にいる自分の家族と向き合いました。その一人が、ムスリム軍に捕らえられた実の兄弟 ***アブー・アズィーズ・ブン・ウマイル***でした。

歴史の注：「しっかり縛れ」

ムスアブは、アブー・アズィーズを縛っているアンサールの男のそばを通り、こう言ったと伝えられています。「しっかり縛れ。彼の母は金持ちだから、あなたから身代金で買い戻すかもしれない。」アブー・アズィーズが「兄弟よ、これが私についてのあなたの言葉か」と言うと、ムスアブは答えました。 ***「私の兄弟はあなたではなく、彼（このアンサールの男）だ。」***

また、アブー・アズィーズは後に、アッラーの使徒 ﷺ の言いつけによって捕虜たちは親切に扱われ、ムスリムたちは自分はナツメヤシを食べながら彼にパンを与えたと語ったと伝えられています。

伝承の評価： スィーラの書に、強くつながった伝承経路なしに伝えられています。その内容は歴史書でよく知られています。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークからの伝承）；タバリー『諸使徒と諸王の歴史』。

教訓

ムスアブにとって、信仰の絆は血の絆よりも強いものでした。それでもイスラームは捕虜を親切に扱うよう命じています。正義と慈悲は戦場においても失われないのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ウフド：最後の息まで旗を

ヒジュラ暦 3 年シャウワール月のウフドの戦いで、アッラーの使徒 ﷺ は再び旗をムスアブ・ブン・ウマイルに渡されました。射手たちが丘を離れ、クライシュ族の騎兵が背後から攻めると、ムスリムの隊列は乱れました。ムスアブは旗を持ってアッラーの使徒 ﷺ のそばに踏みとどまりました。

歴史の注：右手と左手

多神教徒の騎兵***イブン・カミア***がムスアブを襲い、右手を切り落としたと伝えられています。ムスアブは左手で旗を持ち、「ムハンマドは一人の使徒に過ぎない。使徒たちはかれの前に逝った」と唱えました。次に左手も切り落とされると、両腕で旗を胸に抱きかかえ、ついに槍で突かれて殉教しました。

また、ムスアブがアッラーの使徒 ﷺ に似ていたため、イブン・カミアは使徒を殺したと思い込み、「ムハンマドを殺した！」と叫んだとも伝えられています。その後、アッラーの使徒 ﷺ は旗をアリー・ブン・アビー・ターリブに渡されました。

伝承の評価： 右手と左手の話は、イブン・サアドが弱い「ムルサル」の伝承経路で伝えたものです。ムスアブがこの節を啓示の前に唱えたという伝承は真正ではありません。真正なのは、この節がウフドの出来事について下されたということです。ムスアブがウフドで殉教したことは真正です（『サヒーフ・ブハーリー』1276）。

参照：

イブン・サアド『大列伝』（イブラーヒーム・ブン・ムハンマド・ブン・シュラフビール・アル＝アブダリーがその父から伝える）；イブン・ヒシャーム『預言者伝』。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アッラーの使徒 ﷺ が殺されたという偽りの知らせは、多くの教友の気力をくじきました。アッラーは次の言葉で彼らを戒められました。

イムラーン家章 3:144

وَمَا مُحَمَّدٌ إِلَّا رَسُولٌ قَدْ خَلَتْ مِن قَبْلِهِ ٱلرُّسُلُ ۚ أَفَإِيْن مَّاتَ أَوْ قُتِلَ ٱنقَلَبْتُمْ عَلَىٰٓ أَعْقَٰبِكُمْ ۚ وَمَن يَنقَلِبْ عَلَىٰ عَقِبَيْهِ فَلَن يَضُرَّ ٱللَّهَ شَيْـًٔا ۗ وَسَيَجْزِى ٱللَّهُ ٱلشَّٰكِرِينَ ﴿١٤٤﴾

ムハンマドは，一人の使徒に過ぎない。使徒たちはかれの前に逝った。もしかれが死ぬか， または殺されたら，あなたがたは踵を返すのか。誰が踵を返そうとも，少しもアッラーを損うことは出来ない。だがアッラーは，感謝（してかれに仕える）者に報われる。

訳：三田了一 — quran.com/3:144

教訓

ムスアブは体が傷つけられても任務を手放しませんでした。この節は、信仰者の信仰は人間に──たとえアッラーの使徒 ﷺ であっても──ではなく、永遠に生きておられるアッラーに結ばれていることを教えています。

ウフドの殉教者たち

ウフドでは、アッラーの使徒 ﷺ のおじハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブとムスアブ・ブン・ウマイルを含む 70 人の教友が殉教しました。ジャービル・ブン・アブドゥッラーは、彼らがどのように葬られたかを語っています。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 1343 番

حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ يُوسُفَ، حَدَّثَنَا اللَّيْثُ، قَالَ حَدَّثَنِي ابْنُ شِهَابٍ، عَنْ عَبْدِ الرَّحْمَنِ بْنِ كَعْبِ بْنِ مَالِكٍ، عَنْ جَابِرِ بْنِ عَبْدِ اللَّهِ ـ رضى الله عنهما ـ قَالَ كَانَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم يَجْمَعُ بَيْنَ الرَّجُلَيْنِ مِنْ قَتْلَى أُحُدٍ فِي ثَوْبٍ وَاحِدٍ ثُمَّ يَقُولُ " أَيُّهُمْ أَكْثَرُ أَخْذًا لِلْقُرْآنِ ". فَإِذَا أُشِيرَ لَهُ إِلَى أَحَدِهِمَا قَدَّمَهُ فِي اللَّحْدِ وَقَالَ " أَنَا شَهِيدٌ عَلَى هَؤُلاَءِ يَوْمَ الْقِيَامَةِ ". وَأَمَرَ بِدَفْنِهِمْ فِي دِمَائِهِمْ، وَلَمْ يُغَسَّلُوا وَلَمْ يُصَلَّ عَلَيْهِمْ.

訳：

ジャービル・ブン・アブドゥッラーは言いました。*「預言者 ﷺ はウフドで殺された者のうち二人を一枚の布にまとめ、『このうちクルアーンをより多く身につけていたのはどちらか』と尋ねられた。*一人が指し示されると、その人を墓穴の前に置き、*『審判の日、私はこの人々の証人となる』*と言われた。そして血のついたまま葬るよう命じられ、彼らは洗われず、葬儀の礼拝も行われなかった。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブドゥッラー・ブン・ユースフ ← アル＝ライス ← イブン・シハーブ ← アブドゥッラフマーン・ブン・カアブ・ブン・マーリク ← ジャービル・ブン・アブドゥッラー رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』葬儀の書、殉教者への礼拝の章、ハディース第 1343 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:1343

アッラーは次の言葉で殉教者の家族を慰められました。

イムラーン家章 3:169

وَلَا تَحْسَبَنَّ ٱلَّذِينَ قُتِلُوا۟ فِى سَبِيلِ ٱللَّهِ أَمْوَٰتًۢا ۚ بَلْ أَحْيَآءٌ عِندَ رَبِّهِمْ يُرْزَقُونَ

﴿١٦٩﴾

アッラーの道のために殺害された者を，死んだと思ってはならない。いや，かれらは主の御許で扶養されて，生きている。

訳：三田了一 — quran.com/3:169

教訓

ウフドでは、クルアーンをより多く知る人が、墓の中でさえ前に置かれました。クルアーンはそれを身につけた人を、この世でも、バルザフ（死後の中間界）でも、来世でも高めます。マディーナで最初のクルアーンの教師ムスアブも、その誉れある人々の一人でした。

ナミラとイズヒル草

かつてマッカで最も美しい服を着ていた若者は、財産を持たずにこの世を去りました。ともに移住した教友ハッバーブ・ブン・アル＝アラットはこう語っています。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 1276 番

حَدَّثَنَا عُمَرُ بْنُ حَفْصِ بْنِ غِيَاثٍ، حَدَّثَنَا أَبِي، حَدَّثَنَا الأَعْمَشُ، حَدَّثَنَا شَقِيقٌ، حَدَّثَنَا خَبَّابٌ ـ رضى الله عنه ـ قَالَ هَاجَرْنَا مَعَ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم نَلْتَمِسُ وَجْهَ اللَّهِ، فَوَقَعَ أَجْرُنَا عَلَى اللَّهِ، فَمِنَّا مَنْ مَاتَ لَمْ يَأْكُلْ مِنْ أَجْرِهِ شَيْئًا مِنْهُمْ مُصْعَبُ بْنُ عُمَيْرٍ، وَمِنَّا مَنْ أَيْنَعَتْ لَهُ ثَمَرَتُهُ فَهُوَ يَهْدِبُهَا. قُتِلَ يَوْمَ أُحُدٍ، فَلَمْ نَجِدْ مَا نُكَفِّنُهُ إِلاَّ بُرْدَةً إِذَا غَطَّيْنَا بِهَا رَأْسَهُ خَرَجَتْ رِجْلاَهُ، وَإِذَا غَطَّيْنَا رِجْلَيْهِ خَرَجَ رَأْسُهُ، فَأَمَرَنَا النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم أَنْ نُغَطِّيَ رَأْسَهُ، وَأَنْ نَجْعَلَ عَلَى رِجْلَيْهِ مِنَ الإِذْخِرِ.

訳：

ハッバーブは言いました。*「私たちはアッラーのお顔を求めて預言者ﷺとともに移住した。それゆえ私たちの報奨はアッラーのもとにある。私たちの中には、報奨の何ひとつ（この世で）味わうことなく亡くなった者がいる。ムスアブ・ブン・ウマイルもその一人である。*また私たちの中には、実が熟し、それを摘み取っている者もいる。ムスアブはウフドの日に殺された。彼を包む布は一枚の外套（ブルダ）しか見つからなかった。それで頭を覆うと足が出て、足を覆うと頭が出た。*そこで預言者ﷺは、頭を覆い、足の上にイズヒル草を置くよう私たちに命じられた。」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ウマル・ブン・ハフス・ブン・ギヤース ← ハフス・ブン・ギヤース ← アル＝アアマシュ ← シャキーク ← ハッバーブ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』葬儀の書、頭か足しか覆えない布しかないときは頭を覆う章、ハディース第 1276 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:1276

別の伝承でハッバーブは、ムスアブが***一枚のナミラ（縞模様の毛織りの布）しか残さなかった***と述べています（『サヒーフ・ブハーリー』3897、4047）。イズヒル草は、ヒジャーズに生える香りのよい草です。

教訓

ムスアブは、イスラームの勝利の後に訪れた戦利品や豊かさを味わうまで生きませんでした。彼の報奨はすべてアッラーのもとに蓄えられています。その短い死装束は、アッラーの道に捧げられた体を包んだがゆえに、最も尊い布となりました。

アブドゥッラフマーン・ブン・アウフの涙

ウフドから何年も後、ムスリムたちが富を与えられたころ、最も裕福な教友の一人アブドゥッラフマーン・ブン・アウフは、なおもムスアブを思い出していました。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 1275 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ مُقَاتِلٍ، أَخْبَرَنَا عَبْدُ اللَّهِ، أَخْبَرَنَا شُعْبَةُ، عَنْ سَعْدِ بْنِ إِبْرَاهِيمَ، عَنْ أَبِيهِ، إِبْرَاهِيمَ أَنَّ عَبْدَ الرَّحْمَنِ بْنَ عَوْفٍ ـ رضى الله عنه ـ أُتِيَ بِطَعَامٍ وَكَانَ صَائِمًا فَقَالَ قُتِلَ مُصْعَبُ بْنُ عُمَيْرٍ وَهُوَ خَيْرٌ مِنِّي، كُفِّنَ فِي بُرْدَةٍ، إِنْ غُطِّيَ رَأْسُهُ بَدَتْ رِجْلاَهُ، وَإِنْ غُطِّيَ رِجْلاَهُ بَدَا رَأْسُهُ ـ وَأُرَاهُ قَالَ ـ وَقُتِلَ حَمْزَةُ وَهُوَ خَيْرٌ مِنِّي، ثُمَّ بُسِطَ لَنَا مِنَ الدُّنْيَا مَا بُسِطَ ـ أَوْ قَالَ أُعْطِينَا مِنَ الدُّنْيَا مَا أُعْطِينَا ـ وَقَدْ خَشِينَا أَنْ تَكُونَ حَسَنَاتُنَا عُجِّلَتْ لَنَا، ثُمَّ جَعَلَ يَبْكِي حَتَّى تَرَكَ الطَّعَامَ.

訳：

イブラーヒームの伝えるところでは、断食中のアブドゥッラフマーン・ブン・アウフのもとに食事が運ばれました。彼は言いました。***「ムスアブ・ブン・ウマイルは殺された。彼は私より優れていた。彼は一枚の外套で包まれ、頭を覆えば足が出て、足を覆えば頭が出た。***ハムザも殺された。彼も私より優れていた。その後、この世は私たちに大きく広げられた。私たちは、自分たちの善行の報いが前もって与えられてしまったのではないかと恐れている。」***そして彼は泣き始め、ついに食事に手をつけなかった。***

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムハンマド・ブン・ムカーティル ← アブドゥッラー・ブン・アル＝ムバーラク ← シュウバ ← サアド・ブン・イブラーヒーム ← イブラーヒーム・ブン・アブドゥッラフマーン ← アブドゥッラフマーン・ブン・アウフ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』葬儀の書、死装束は全財産から出す章、ハディース第 1275 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:1275

教訓

アブドゥッラフマーン・ブン・アウフは楽園を約束された十人の一人でしたが、それでも自分の富が来世の報奨を減らすことを恐れていました。ムスアブの物語は、恵みを与えられたすべての人に、感謝し、施しをし、この世に心を奪われないよう思い起こさせます。

約束に忠実な男たち

ウフドで殉教した教友たちは、アッラーとの約束に忠実でした。アナス・ブン・マーリクは、ウフドの殉教者の一人であるおじアナス・ブン・アン＝ナドルと、彼らについて下された節について語っています。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 2805 番（抜粋）

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ سَعِيدٍ الْخُزَاعِيُّ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الأَعْلَى، عَنْ حُمَيْدٍ، قَالَ سَأَلْتُ أَنَسًا. حَدَّثَنَا عَمْرُو بْنُ زُرَارَةَ، حَدَّثَنَا زِيَادٌ، قَالَ حَدَّثَنِي حُمَيْدٌ الطَّوِيلُ، عَنْ أَنَسٍ ـ رضى الله عنه ـ قَالَ غَابَ عَمِّي أَنَسُ بْنُ النَّضْرِ عَنْ قِتَالِ بَدْرٍ فَقَالَ يَا رَسُولَ اللَّهِ، غِبْتُ عَنْ أَوَّلِ قِتَالٍ قَاتَلْتَ الْمُشْرِكِينَ، لَئِنِ اللَّهُ أَشْهَدَنِي قِتَالَ الْمُشْرِكِينَ لَيَرَيَنَّ اللَّهُ مَا أَصْنَعُ، فَلَمَّا كَانَ يَوْمُ أُحُدٍ وَانْكَشَفَ الْمُسْلِمُونَ قَالَ " اللَّهُمَّ إِنِّي أَعْتَذِرُ إِلَيْكَ مِمَّا صَنَعَ هَؤُلاَءِ ـ يَعْنِي أَصْحَابَهُ ـ وَأَبْرَأُ إِلَيْكَ مِمَّا صَنَعَ هَؤُلاَءِ " ـ يَعْنِي الْمُشْرِكِينَ ـ ثُمَّ تَقَدَّمَ، فَاسْتَقْبَلَهُ سَعْدُ بْنُ مُعَاذٍ، فَقَالَ يَا سَعْدُ بْنَ مُعَاذٍ، الْجَنَّةَ، وَرَبِّ النَّضْرِ إِنِّي أَجِدُ رِيحَهَا مِنْ دُونِ أُحُدٍ. قَالَ سَعْدٌ فَمَا اسْتَطَعْتُ يَا رَسُولَ اللَّهِ مَا صَنَعَ. قَالَ أَنَسٌ فَوَجَدْنَا بِهِ بِضْعًا وَثَمَانِينَ ضَرْبَةً بِالسَّيْفِ أَوْ طَعْنَةً بِرُمْحٍ أَوْ رَمْيَةً بِسَهْمٍ، وَوَجَدْنَاهُ قَدْ قُتِلَ وَقَدْ مَثَّلَ بِهِ الْمُشْرِكُونَ، فَمَا عَرَفَهُ أَحَدٌ إِلاَّ أُخْتُهُ بِبَنَانِهِ. قَالَ أَنَسٌ كُنَّا نَرَى أَوْ نَظُنُّ أَنَّ هَذِهِ الآيَةَ نَزَلَتْ فِيهِ وَفِي أَشْبَاهِهِ {مِنَ الْمُؤْمِنِينَ رِجَالٌ صَدَقُوا مَا عَاهَدُوا اللَّهَ عَلَيْهِ} إِلَى آخِرِ الآيَةِ. ...

訳：

アナスは言いました。私のおじアナス・ブン・アン＝ナドルはバドルの戦いに加われませんでした。彼は言いました。「アッラーの使徒よ、あなたが多神教徒と戦った最初の戦いに私は加われませんでした。もしアッラーが多神教徒との戦いに立ち会わせてくださるなら、私が何をするかをアッラーはきっとご覧になるでしょう。」ウフドの日、ムスリムたちが退いたとき、彼は言いました。「アッラーよ、この者たち（仲間たち）がしたことについてあなたにお詫びします。そしてこの者たち（多神教徒たち）がしたことからは、あなたの前で身を引きます。」それから彼は進み出てサアド・ブン・ムアーズに会い、言いました。 *「サアド・ブン・ムアーズよ、楽園だ！ ナドルの主にかけて、*

ウフドの向こうからその香りがする。」 アナスは言いました。私たちは彼の体に、剣と槍と矢による八十余りの傷を見つけました。彼は殺され、多神教徒たちに体を損なわれていたので、指先で見分けた妹のほかには誰も彼だとわかりませんでした。***私たちは、次の節が彼と彼のような人々について下されたと考えていました。「信者の中には、アッラーとの約束に忠実な人々がある」*** （節の終わりまで）。.....

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アムル・ブン・ズラーラ ← ズィヤード ← フマイド・アッ＝タウィール ← アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ジハードと遠征の書、「信者の中には、アッラーとの約束に忠実な人々がある」という言葉の章、ハディース第 2805 番。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:2805

部族連合章 33:23

مِّنَ ٱلۡمُؤۡمِنِينَ رِجَالٞ صَدَقُواْ مَا عَٰهَدُواْ ٱللَّهَ عَلَيۡهِۖ فَمِنۡهُم مَّن قَضَىٰ نَحۡبَهُۥ وَمِنۡهُم مَّن يَنتَظِرُۖ وَمَا بَدَّلُواْ تَبۡدِيلٗا ٢٣

信者の中には，アッラーと結んだ約束に忠実であった人びとが（多く）いたのである。或る者はその誓いを果し，また或る者は（なお）待っている。かれらは少しも（その信念を）変えなかった。

訳：三田了一 — quran.com/33:23

歴史の注：ムスアブの亡骸のそばでのこの節

ウフドの後、アッラーの使徒 ﷺ はムスアブ・ブン・ウマイルの亡骸のそばに立ち、この節を唱えられたと伝えられています。「信者の中には、アッラーとの約束に忠実な人々がある。」

伝承の評価： 伝承経路は弱いものです。真正なのは、教友たちがこの節はアナス・ブン・アン＝ナドルと彼のような殉教者について下されたと考えていたことであり（『サヒーフ・ブハーリー』2805）、ムスアブもその一人です。

参照：

イブン・サアド『大列伝』；アブー・ヌアイム『聖者たちの飾り（ヒルヤ・アル＝アウリヤー）』。

教訓

ムスアブはアルカムの家でアッラーの使徒 ﷺ に忠誠を誓い、ウフドで最後の一滴の血までその誓いを果たしました。彼はこの節にある「誓いを果たした」人々の一人であり、「少しも（約束を）変えなかった」人々の一人です。

ムスアブの家族

ムスアブは、信者たちの母ザイナブ・ビント・ジャフシュの姉妹であり、同じくウフドで殉教したアブドゥッラー・ブン・ジャフシュの姉妹でもある***ハムナ・ビント・ジャフシュ***と結婚しました。二人には***ザイナブ***という娘が生まれました。ムスアブの殉教後、ハムナはタルハ・ブン・ウバイディッラーと結婚しました。

ハディースの注：知らせがハムナに届く

ハムナ・ビント・ジャフシュに「あなたの兄弟が殺された」と告げられると、彼女は「アッラーが彼にお慈悲を。私たちはアッラーのもの、アッラーのもとに帰る者です」と言いました。「あなたの夫が殺された」と告げられると、彼女は「ああ、悲しい！」と言いました。アッラーの使徒 ﷺ は言われました。「妻には、ほかの何に対するものとも違う、夫への愛がある。」

伝承の評価： 伝承経路が弱いため「ダイーフ（弱い）」です（ダールッサラーム）。

参照：

『スナン・イブン・マージャ』1590。

教訓

殉教者たちは、その犠牲をともに担う家族を残していきます。教友たちがウフドの後にムスアブの家族を世話したように、ムスリム社会には殉教者の寡婦や孤児を世話する責任があります。

ムスアブの人柄

ムスアブの物語は、誠実さと英知と勇気をあわせ持った若者の姿を示しています。

特質	生涯からの例
この世への執着のなさ	イスラームのためにマッカのぜいたくを捨てた
揺るがない信仰	家族に閉じ込められてもイスラームにとどまった
知識	マディーナでクルアーンを教えた（『サヒーフ・ブハーリー』3925）
呼びかけの英知	ウサイドとサアド・ブン・ムアーズに「座って聞いてみませんか」
忠誠	バドルで信仰の絆を血の絆より優先した
勇気	バドルとウフドで旗を掲げた
約束への忠実さ	ウフドで殉教した（部族連合章 33:23）
誠実さ	報奨はアッラーのもとに蓄えられている（『サヒーフ・ブハーリー』1276）

教訓

ムスアブは、心をすべてアッラーに捧げた若者は、呼びかけ人であり、教師であり、英雄でもありうることを示しました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ムスアブの物語の出典

この表は、読者が真正なものと単に有名なものを見分けられるよう、それぞれの話の出典と評価をまとめたものです。

物語	出典	評価
最初にマディーナへ；クルアーンを教える	『サヒーフ・ブハーリー』3925	真正
ウフドの殉教者の埋葬	『サヒーフ・ブハーリー』1343	真正
ナミラとイズヒル草	『サヒーフ・ブハーリー』1276、3897、4047；『サヒーフ・ムスリム』940	真正
アブドゥッラフマーン・ブン・アウフの涙	『サヒーフ・ブハーリー』1274、1275	真正
部族連合章 33:23 とアナス・ブン・アン＝ナドル	『サヒーフ・ブハーリー』2805	真正
毛皮でつぎを当てた外套	『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』2476	弱い
知らせがハムナに届く	『スナン・イブン・マージャ』1590	弱い
マッカで最も香り高い若者	イブン・サアド；ハーキム	歴史
アルカムの家での入信；家族による監禁	イブン・サアド；イブン・ヒシャーム	スィーラ
アビシニアへの移住	イブン・サアド；イブン・ヒシャーム	スィーラ
第一次アカバ後のマディーナへの使節	イブン・ヒシャーム；イブン・サアド	スィーラ
ウサイド・ブン・フダイルとサアド・ブン・ムアーズ	イブン・イスハーク；イブン・ヒシャーム	スィーラ

物語	出典	評価
バドルの旗	イブン・イスハーク；ワーキディー	スィーラ
アブー・アズィーズが捕虜に	イブン・イスハーク；タバリー	スィーラ
ウフドでの右手と左手	イブン・サアド	弱い
亡骸のそばで 33:23 を唱える	イブン・サアド；アブー・ヌアイム	弱い

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ムスアブの物語の人物

人物	役割
フナース・ビント・マーリク	彼の入信に反対した母
アル＝アルカム・ブン・アビー・アル＝アルカム	ムスアブが入信した家の主
ウスマーン・ブン・タルハ	礼拝するムスアブを見て家族に知らせた
アスアド・ブン・ズラーラ	マディーナでムスアブを迎えた家の主
ウサイド・ブン・フダイル	ムスアブを通じて入信したアンサールの指導者
サアド・ブン・ムアーズ	ムスアブを通じて入信したアブドゥルアシュハル家の指導者
アル＝バラーウ・ブン・アーズィブ	ムスアブのマディーナ到着のハディースの伝承者
アブー・アズィーズ・ブン・ウマイル	実の兄弟、バドルの捕虜
イブン・カミア	ウフドで彼を殺した多神教徒
ハッバーブ・ブン・アル＝アラット	死装束の話の伝承者
アブドゥッラフマーン・ブン・アウフ	彼を思い出して泣いた
ハムナ・ビント・ジャフシュ	妻

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ムスアブの物語の場所

場所	出来事
マッカ	生まれた地；豊かさの中で育つ
サファーの丘のアルカムの家	入信した場所
アビシニア	信仰を守るための移住
ミナーのアカバ	アンサールの第一次・第二次の誓い
マディーナ（ヤスリブ）	クルアーンを教える；イスラーム最初の使節
アブドゥルアシュハル家の土地	ウサイド・ブン・フダイルとサアド・ブン・ムアーズの入信
バドル	旗を掲げる（ヒジュラ暦 2 年）
ウフド	旗を掲げる；殉教（ヒジュラ暦 3 年）
ウフドの殉教者墓地	埋葬された場所

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ムスアブの生涯の年表

年	出来事
ヒジュラ前 37 年ごろ	マッカのアブド・アッ＝ダール家に生まれる（殉教時の年齢からの推定）
預言者となった初期	アルカムの家で入信
預言者となって 5 年目	アビシニアへ移住
預言者となって 12 年目	第一次アカバの誓い；マディーナへ派遣される
預言者となって 13 年目	第二次アカバの誓い
ヒジュラ暦 1 年	アッラーの使徒 ﷺ がマディーナに到着
ヒジュラ暦 2 年	バドルで旗を掲げる
ヒジュラ暦 3 年	ウフドで旗を掲げ、40 歳ごろで殉教（イブン・サアド）

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ムスアブについてよくある質問

この章では、ムスアブ・ブン・ウマイル رضى الله عنه についてよくある質問に答えます。答えは簡潔で、詳しくはこれまでの章にあります。

1. ムスアブの正式な名前は？

ムスアブ・ブン・ウマイル・ブン・ハーシム・ブン・アブド・マナーフ・ブン・アブド・アッ＝ダール、クライシュ族アブド・アッ＝ダール家の人です。

2. ムスアブは本当にマッカで最も恵まれた若者だったのですか？

はい、イブン・サアドの『大列伝』などの伝記の書によればそうです。ただし、それらの伝承の経路は真正ではありません。

3. ムスアブはどこで入信しましたか？

サファーの丘のふもとにあるアル＝アルカム・ブン・アビー・アル＝アルカムの家です。

4. なぜムスアブはイスラーム最初の使節と呼ばれるのですか？

アッラーの使徒 ﷺ が、ヒジュラの前、第一次アカバの誓いの後に、クルアーンを教えるため彼をマディーナへ送られたからです。

5. 最初にマディーナに来たのは誰ですか？

ムスアブ・ブン・ウマイルとイブン・ウンム・マクトゥームです（『サヒーフ・ブハーリー』3925）。

6. ムスアブの呼びかけが成功した秘訣は？

知識、人柄、忍耐、英知です。「座って聞いてみませんか」という言葉によく表れています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

7. ムスアブを通じて入信したのは誰ですか？

ウサイド・ブン・フダイルとサアド・ブン・ムアーズ、そしてアブドゥルアシュハル家全員を含む多くのアンサールです。

8. バドルとウフドでのムスアブの役割は？

両方の戦いで旗手（アル＝リワー）を務めました。

9. ムスアブはイムラーン家章 3:144 を啓示の前に唱えたのですか？

その伝承は弱いものです。真正なのは、この節がウフドの出来事について下されたということです。

10. ムスアブはどのように葬られましたか？

短いナミラで頭を覆い、足はイズヒル草で覆われました（『サヒーフ・ブハーリー』1276）。

11. なぜアブドゥッラフマーン・ブン・アウフはムスアブを思って泣いたのですか？

自分の善行の報いがこの世で前もって与えられてしまうことを恐れたからです。一方ムスアブは、この世の何も味わわずに亡くなりました（『サヒーフ・ブハーリー』1275）。

12. ムスアブの物語の最大の教訓は？

この世のぜいたくをアッラーのご満悦と取り替えること、英知をもって呼びかけること、そして生涯の終わりまでアッラーとの約束に忠実であることです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓と結び

ムスアブ・ブン・ウマイル رضى الله عنه の物語は、マッカの小道で最も香り高い若者に始まり、死装束にする布さえ足りなかった殉教者で終わります。その間には、知識と呼びかけと犠牲に満ちた生涯があります。

教訓	ムスアブの物語から
何よりも信仰	イスラームのためにぜいたくと家族を離れた
英知による呼びかけ	「座って聞いてみませんか」
行いの前に知識	アルカムの家で学び、マディーナで教えた
一人が町を変える	マディーナは1年でイスラームに満ちた
信仰の絆	血の絆よりも強い
最後まで任務を	倒れるまで旗を握った
報奨はアッラーのもとに	この世を味わわなかったが、報奨は完全

私たちの暮らしの中のムスアブ

私たちが町への使節として送られることはないかもしれません。しかし誰もが、家族や職場や地域の中で「ムスアブ」になることができます。クルアーンを学び、教え、やさしく呼びかけ、人々に「座って聞く」機会を与えることです。

ぜいたくがもてはやされる時代に、ムスアブの物語は、人の本当の価値は服や香りではなく、信仰と行いにあることを思い起こさせてくれます。

イスラーム最初の使節であり、ウフドの旗手であったムスアブ・ブン・ウマイルにアッラーのご満悦がありますように。そしてアッラーの使徒 ﷺ とその教友たちとともに、私たちを楽園に集めてくださいますように。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

参考文献

クルアーンと解釈

聖クルアーン、ウスマーン版の本文と三田了一訳。quran.com

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの解釈（タフスィール・アル＝クルアーン・アル＝アズィーム）』（イムラーン家章 3:144、3:169；蜜蜂章 16:125；蜘蛛章 29:8；部族連合章 33:23；至高者章 87:1）。

ハディース

『サヒーフ・ブハーリー』1274、1275、1276、1343、2805、3897、3925、4047。sunnah.com/bukhari

『サヒーフ・ムスリム』940。sunnah.com/muslim

『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』2476。sunnah.com/tirmidhi

『スナン・イブン・マージャ』1590。sunnah.com/ibnmajah

スィーラ、歴史、伝記の書

イブン・ヒシャーム『預言者伝（アッ＝スィーラ・アン＝ナバウィーヤ）』（イブン・イスハークからの伝承）。

ワーキディー『マガーズィー（遠征記）』。

イブン・サアド『大列伝（アッ＝タバカート・アル＝クブラー）』（ムスアブ・ブン・ウマイルの伝記）。

タバリー『諸使徒と諸王の歴史（ターリーフ・アッ＝ルスル・ワ・アル＝ムルーク）』。

アブー・ヌアイム・アル＝イスファハーニー『聖者たちの飾り（ヒルヤ・アル＝アウリヤー）』。

イブン・カスィール『始まりと終わり（アル＝ビダーヤ・ワ・アン＝ニハーヤ）』。

ザハビー『高貴な人々の伝記（スィヤル・アアラーム・アン＝ヌバラー）』。

イブン・ハジャル・アル＝アスカラーニー『アル＝イサーバ』；『ファトフ・アル＝バーリー』。

Wikipedia「Mus‘ab ibn ‘Umayr」。en.wikipedia.org/wiki/Mus%27ab_ibn_Umayr

QURANSCIENCE.MY の関連シリーズ

『イスラームの英雄』第 1 巻：ハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブから第 5 巻：サアド・ブン・アビー・ワッカースまで。quranscience.my/#pahlawan

『預言者伝（スィーラ）』第 9 巻（バドルの戦い）と第 10 巻（ウフドの戦い）。quranscience.my/#sirah

支援と寄付

この電子書籍はムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売してはなりません**。研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営費、そして次の電子書籍の発行のためのご寄付を心から歓迎します – ただし、**義務ではありません**。アッラーがすべてのご寄付を継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。『本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。』

訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。人を赦すしもべに、アッラーは尊厳しか増し加えない。アッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・作法の書、赦しと謙虚さを勧めることの章、ハディース第 2588 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيدٍ - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドッラフマーン ← 父 アブドッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書、死後に人に届く報奨の章、ハディース第 1631 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（多大なる善い報いがありますように）



上の QR コード（DuitNow）を読み取って寄付できます。

海外からのご寄付：上の PayPal QR コードを読み取るか、こちらへ paypal.me/quranscience